

特集 第71回 関東地区母子寡婦福祉研修大会 シンポジウム **研修討議**
全国統一活動テーマ「支え合い、共に目指そう明るい未来」

シンポジウムでは、「目指そう自立！活かそう支援策！」
 「母子と寡婦 明日へつなぐ世代の輪」「育てよう『自立』
 なくそう『孤立』」の3つの課題を、各地区代表の6名の方
 が発表し、ひとり親家庭への支援の在り方についての研修
 討議が行われました。
 素晴らしい発表の中から2つをご紹介します。



「チャンスとタイミング」
 川崎市 Aさん
 ひとり親になってもうすぐ10年、子どもは一人で
 離婚当時は2歳。実家の母と一緒に暮らすことができた
 ので精神的に救われ、近場でパート事務員として働き、
 子どもと過ごす時間も安定した日々でした。
 娘が小学生になったのを機に正社員で小さな製作所
 で経理事務員として働き始めましたが、3年が過ぎた頃
 一人の上司から嫌がらせを受け、会社に行くのが苦痛
 になり体調を崩してしまいました。身体も精神的にも
 追い込まれていた時に、母子会のホームページで
 「調剤事務管理士資格取得講座」を見つけ「これだ！」
 と思い申込み、週1回・全8回の講座で仕事と両立し
 ながら何とか資格認定試験に1回で合格することができ
 ました。その後、ハローワークでタイミングよく近所
 の調剤薬局で正社員の募集があり、直感的に「ここ！」
 と思い、面接、見事採用になりました。今回は色々な
 場面でも、人・事柄・時期などタイミングが全て
 良い方向に進んだと思います。待っているだけでは
 チャンスを掴めないと感じました。覚える事もたく
 さんありますが、やり甲斐があり毎日が楽しいです。
 今後は登録販売者という資格取得を目指して頑張り
 たいと思っています。

「ひとり親家庭暮らし子育てセミナー」を通して
 新潟県 茂又さん
 新潟県委託事業「ひとり親家庭暮らし・子育て応援セ
 ミナー」は、県内各地で様々なレクリエーションや講演会と
 交流会を開催し、昨年は大人131名、子ども63名、計194名
 の方から参加いただきました。
 私の地元では料理教室を開催し、みんなでパスタやピザ、
 サラダ、スープ、カップケーキなどを作りました。食事の
 後は、交流会を行い、お茶やお菓子をつまみながら子ども
 の進学資金などいろいろな悩みを話し合います。同じよう
 な悩みを乗り越えてきた寡婦が活躍します。経験者の話は
 参考になる様子でした。
 セミナーの開催にあたり参加者の募集が課題です。行政
 に相談し郵送物に案内チラシを同封してもらったり、就
 業・自立支援センター相談員による個別相談など内容の充
 実を図っています。
 私の長男ですが、中学校2年のころから不登校、非行に
 まっしぐらで、毎日悩み、人に相談することも出来ず真つ
 暗闇の時、母子会の仲間や寡婦の先輩に話を聞いてもらい、
 「実は、うちの子とも…」と私だけじゃないんだと
 共感でき、子どもと向かい合う力をもらいました。私も誰
 かの助けになるきっかけになりたい、と思いながら母子会
 の活動を続けています。

【助言者】 アメリカのジョン・D・クランボルツ教授
 が提案したキャリア理論「計画された偶発性 (= Planned
 Happenstance Theory)」は、個人のキャ
 リアの8割は予想しない偶発的なことで決定され、そ
 の偶発的な事を計画的に導くことでキャリアアップし
 ていくという考え方です。最初から近所の調剤薬局の
 正社員を目指し計画していたわけではなくて、いろい
 ろな偶然が重なったことが就職に結びついたわけで、
 常日頃から好奇心を持って偶然をとらえて新しいこと
 を怖がらずに行動したからこそ、今回キャリアアップ
 出来たんだと思います。
【助言者】 子どもが自立したとしても親は一人でま
 た生きていかなきゃならないんです。正社員で我慢で
 けるなら我慢して、しっかりと年金に繋げるような形
 で働いて頂きたい。しっかりとした信念を持って生き
 れば子どももしっかりと見てくれる、親がどう生きて
 きたかっていう道・姿勢を見せてあげることが大事だ
 と思います。頑張ってくださいと思います。

【コーディネーター】
 村山 伸子 氏
 今日私がこの会に参加し
 て、組織的に活動すること
 の意義、重要性、それを最
 も感じました。
 一点目は情報交換をして
 様々な情報を得る、他人の経験を学ぶ、そして自分一
 人じゃないんだという安心感を持つという意味で、二点目
 に、行政に対してニーズを伝えていく、そのことによって
 制度作りあるいは運用に皆様の状況を反映させる、一人
 人でなく組織として言っていくということは、非常に重要
 という風に思いました。行政の制度は本当に困っている人
 に届くのか、本当に困っている人を想定して作られている
 のか、声を吸い上げる仕組みが、特に自治体に必要な
 じゃないかなと感じました。それから課題としては、今繋
 がっていない人たち、沢山います。そういう人たちにどう
 この輪を広げていくかということが課題という点も共有で
 きたと思います。ありがとうございました。



講演

演題：
「みんなちがってみんないい」
 講師：新垣 勉 氏 (テノール歌手)
**素晴らしいテノールの歌声で、
 多くの方々を魅了しました。**



交流会



アトラクション
 「新潟県民謡 歌と踊り」

●大会に参加して
 柏崎市 Hさん
 シンポジウムで、母子家庭で子どもを育ててきた経験
 談や母子会の活動内容の発表に対し、自立に向けた支援
 策の活かし方や母子会のあり方に関する意見があげら
 れ、どれもなるほどなあと納得させられました。子育て
 後の自分の生活も考え正社員になる、常にアンテナを張
 りチャンスを逃さずキャリアアップする、信念をもって接
 すれば子どもにも伝わる、まさに今後自分が進んで行く
 べき道だと思いました。行政の支援は必要不可欠です
 が、受け身になるばかりでなく自分でやれることを考え
 社会貢献することの必要性、行政に対し組織として意見
 を発信していくことの重要性を認識しました。これか
 らも積極的に母子会の活動に参加し、自分自身も成長さ
 せていきたいと思っています。

●大会アンケートより
 ・長岡駅を降りて会場まで、案内係の方々が笑顔で迎え
 て下さいました。ありがとうございました。
 ・長岡の花火の映像を拝見し、とても感動しました。
 ・行政説明をもっと聞きたかったです。
 ・皆さんの体験をお聞きして、頑張る力が増しました。
 ・新垣さんの歌とお話がとても楽しかったです。
 ・「みんなちがってみんないい」自分の子ども達にお
 くってあげたいです。
 ・参加することによって、いろいろな情報を得ることが
 できてよかったです。
 ・母子・父子の方に参加してほしいと思いました。
 ・交流会では他の県の方とお話合いが出来、大変楽しい
 一日でした。

次期開催のご案内 (平成30年度)

第60回 新潟県母子寡婦福祉大会

期日：平成30年7月15日(日)
 13:00～16:10 (受付12:00～)
 会場：柏崎市産業文化会館(柏崎市駅前2-2-45)



平成29年度 全国母子寡婦福祉研修大会が名古屋市で開催



平成29年11月4日(土)・5日(日) ウェスティンナゴヤキャッス
 ルにて全国母子寡婦福祉研修大会が開催され、新潟県からは中野会
 長をはじめ7名の方が出席されました。
 またシンポジウムには、関東地区代表として見附市の茂又さんが参
 加され「ひとり親家庭暮らし子育て応援セミナー」について発表さ
 れました。

全国大会に参加して **長岡 小杉 玲子**
 まずはじめて全国大会に参加して1,100名という規模の大きさに圧倒されました。
 初日のシンポジウムでは、見附の茂又さんが全国の皆さんに堂々と発表する姿に新潟県の会員の一人と
 して誇らしさ感じ、感動を覚えました。
 二日目の日本舞踏家西川流四世家元「西川千雅氏」による講演も含め有意義な二日間でした。